

◎ 教員免許状の取得に必要な科目および単位数<各学科共通>

1. 教職課程の科目

表VIII

教員免許法施行規則に定める科目区分等		大学の指定科目				
科目	各科目に含めなければならない事項	授業科目	単位	年次	最低修得単位数	
					中一種	高一種
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	☆各学科指定科目(p.14~23)【数学・理科】			24	28
		☆各学科指定科目(p.14~23)【情報・工業】				32
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。) (注)①②	数学科教育法1	2	三	8	8
		数学科教育法2	2			
		数学科教育法3	2			
		数学科教育法4	2	四	8	8
		理科教育法1	2			
		理科教育法2	2	三	8	8
		理科教育法3	2			
		理科教育法4	2	四	8	8
		情報科教育法	4			
		工業科教育法1	2	三	8	8
		工業科教育法2	2			
		教育の基本的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の理念と歴史	2	一
教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職の基礎		2	一	2	2
教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育と社会・制度		2	一	2	2
幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達と学習の心理		2	一	2	2
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育の基礎		2	二	2	2
教育課程の意義及び編成方法	教育課程と総合的な学習の時間		2	二	2	2
道徳、総合的な学習の時間の指導法及び、生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	道徳教育の理論と方法	2	三	2	
	道徳の理論及び指導法	生徒指導と特別活動	2	二	2	2
	特別活動の指導法	教育の方法と技術(情報通信技術の活用を含む)	2	二	2	2
	生徒指導の理論及び方法		2	二	2	2
	教育の方法及び技術	教育相談と進路指導	2	二	2	2
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		2	二	2	2
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談と進路指導	2	二	2	2
進路指導(キャリア教育に関する基礎的な事項を含む。)の理論及び方法	2		二	2	2	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習Ⅰ(事前・事後指導含む)	3	四	5	3
		教育実習Ⅱ	2	四		
	教職実践演習	教職実践演習	2	四	2	2
合計		大学の最低修得単位数合計			59	

(注)①教科教育法の単位は、取得を希望する免許教科ごとに修得する必要があります。

②教科教育法を複数教科履修した場合、修得した単位は免許を取得しようとする教科にしか計上できません。

## 2 免許状取得に必要な学科科目

- 中学校一種免許状は24単位以上、高等学校教諭一種免許状は【数学・理科】28単位以上、【情報・工業】32単位以上修得しなければなりません。  
詳細はP.14以降の各学科の表を参照してください。

## 3. 66条の6の科目

「憲法」2単位、「体育実技」1単位、「スポーツ科学」または「生涯スポーツ科学」2単位、【外国語コミュニケーション】2単位（以下に示す科目）、「AI・データサイエンスと現代社会」は必ず修得しなければなりません。

- 外国語コミュニケーション（2単位） → 英語表現演習1・英語表現演習2 または、英語コミュニケーション1・英語コミュニケーション2を修得してください。

### <特例>

- ◇「工業」の免許のみを取得する場合の特例

**※教育実習に参加しなくても免許取得が可能です。**

「工業」の免許取得については免許法の特例により、下記①②③の単位を修得することで本学部では免許の取得を可能としています。

（「教育職員免許法施行規則」第5条第1項表備考第6号 適用）

①下記6科目12単位

「教職の基礎」、「教育の理念と歴史」、「教育と社会・制度」、「発達と学習の心理」、  
「工業科教育法1」、「工業科教育法2」

②工業の免許取得に必要な学科科目（職業指導Ⅰ・Ⅱを含む）47単位

③66条の6の科目

# 数学科

(下線は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
数	代 数 学	○ <u>線形代数学1</u>	4	代数学序論	4	代数学2	4	代数学4	2	中学校 24 高校 28 ※③
		<u>線形代数学2</u>	4	代数学1	4	代数学3	4	代数学5	2	
	幾 何 学	<u>基礎数学1</u>	2	○ <u>基礎数学3</u>	4	位相数学	4	幾何学3	2	
		<u>基礎数学2</u>	2	幾何学序論	2	幾何学1 幾何学2	4 4	幾何学4	2	
学	解 析 学	<u>数学A</u>	4	○ <u>解析学第1</u>	4	実解析学1	2	解析学4	2	
		<u>数学B</u>	4	解析学第2 解析学第3 基礎数学4	4 2 2	実解析学2 複素解析学1 複素解析学2	4 4 2	解析学5	2	
	「確率論、統計学」			○ <u>統計数学1</u>	2	統計数学3	4	確率論	2	
				統計数学2	2	統計数学4	4	応用統計学1 応用統計学2	2 2	
コンピュータ	○ <u>プログラミング言語1</u>	2			数値解析1	2				
	離散数学1	2			プログラミング言語2	2				
	離散数学2	2								

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
情 報	情報社会・情報倫理	○ <u>情報処理</u>	2							32 ※③
		情報社会と倫理	2							
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）			数値計算法1	2	○ <u>計算の理論1</u>	2	コンピュータと情報処理	2	
				数値計算法2	2	プログラミング言語3	2	応用解析学2	2	
	情報システム（実習を含む。）							データベースと情報検索	2	
								○ <u>情報システム</u>	2	
情報通信ネットワーク（実習を含む。）							○ <u>ネットワークと情報通信</u>	2		
							* <u>情報数学特論1</u>	2		
							* <u>情報数学特論2</u>	2		
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）								応用統計学3	2	
								○ <u>情報処理応用</u>	2	
								情報数学特論3	2	
								情報数学特論4	2	
情報と職業				○ <u>数学特別講義（情報と職業）</u>	2					

①○のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②\*の科目は、科目区分ごとにいずれか1科目以上取得しなければならない。

③中学免許のみ必修の教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、高校1種28単位、中学1種28単位を修得したことになる。

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、高校1種32単位を修得したことになる。

# 物理学科

(下線は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
数    学	代 数 学	線形代数 1	2	◎代数学 I	2					中学校 24  高校 28 ※②
		線形代数 2	2	◎代数学 II	2					
	幾 何 学					◎幾何学 I	2			
						◎幾何学 II	2			
	解 析 学	○数学 1 数学 2 物理数学及演習 1	2 2 3	物理数学及演習 2	3	数理解析 応用解析 1 応用解析 2	2 2 2			
「確率論、統計学」 コンピュータ			○確率及統計	2						
		○情報処理概論	2							

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
理      科	物 理 学	○物理 1	2	電磁気学及演習 1	3	量子力学及演習 2	3	統計物理学	2	中学校 24  高校 28 ※②
		物理 2	2	電磁気学及演習 2	3	統計力学及演習 1	3	物性物理学	2	
		現代物理学序論	2	量子力学及演習 1	3	統計力学及演習 2	3	相関電子系物理学	2	
		力学及演習 1	3			固体物性	2	宇宙物理学	2	
		力学及演習 2	3					固体物理学	2	
	化 学	○化学 1 ○化学 2	2 2	物理化学	2	量子化学	2	超伝導物理学	2	
	生 物 学			○生物学 1 ○生物学 2	2 2			生物物理学	2	
	地 学			○地学 1 ○地学 2	2 2			複雑系物理学	2	
物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理実験	2	物理学実験 1	3	物理学実験 2	3				
化学実験 (コンピュータ活用を含む。)			○化学実験	2						
生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎生物学実験 I ◎生物学実験 II	1 1						
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎地学実験 I ◎地学実験 II	1 1						

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
情   報	情報社会・情報倫理	○情報社会と倫理 技術と法 知的財産法演習	2 2 2							32 ※②
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	物理情報計測 ○コンピュータ及情報処理 1	2 2	コンピュータ及情報処理 2 計算プログラミング	2 2	エレクトロニクス	2	数値計算特論	2	
	情報システム (実習を含む。)					○情報システム データベースと情報検索	2 2			
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)					○ネットワークと情報通信	2	量子情報通信 量子情報物理学	2 2	
	マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)					○計算機シミュレーション 1 計算機シミュレーション 2	2 2			
	情報と職業					○情報通信産業論	2			

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学免許のみ必修の教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「理科」を希望し、「理科」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位、中学1種24単位を修得したことになる。**

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位を修得したことになる。**

＜卒業時に数学と理科の免許を同時に取得希望の方へ ※1年次から教職課程を履修すると、両方取得できます。＞

時間割上、卒業までに数学と理科の免許を同時に修得するには、2年次水曜日の配当科目である「生物学実験Ⅰ」、「生物学実験Ⅱ」

(又は「代数学Ⅰ」、「代数学Ⅱ」)を修得し、引き続き3年次に「代数学Ⅰ」、「代数学Ⅱ」(又は「生物学実験Ⅰ」、「生物学実験Ⅱ」)を修得しなければならないので注意すること。

都市環境学科 (環境クリエイターコース/都市プランナーコース)

(下線は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
数 学	代 数 学	線形代数	2	◎代数学 I ◎代数学 II	2 2					中学校 24 高校 28 ※②
	幾 何 学					◎幾何学 I ◎幾何学 II	2 2			
	解 析 学	数学演習	1	応用解析 I	2	環境解析	2			
		○微分・積分 解析学基礎	2 2	応用解析 II データ解析 システム最適化	2 2 2	数値解析	2			
	「確率論、統計学」	○確率・統計	2							
コンピュータ	○情報科学	2	プログラミング言語 1	2	シミュレーション工学 プログラミング言語 2	2 2				

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学免許のみ必修の教職科目『道德教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道德教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、高校1種28単位、中学1種24単位を修得したことになる。



# 電気電子情報通信工学科

(下線は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
数	代 数 学	線形代数 1	2	情報理論	2					中学校 24  高校 28 ※②
		線形代数 2	2	数理解画法	2					
学	幾 何 学			◎代数学 I	2					
				◎代数学 II	2	◎幾何学 I	2			
						◎幾何学 II	2			
								応用数理解析	2	
	解析学	○数学 A	4	解析概論	4					
	「確率論、統計学」	数学 B	4	数値解析	2					
	コンピュータ	○デジタル代数及演習	3	○確率及統計	2					
						デジタル回路 情報数学	2			
							2			

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
情 報	情報社会・情報倫理	○情報社会と倫理	2					生体情報工学	2	32 ※②
		技術と法	2							
		知的財産法演習	2							
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	○プログラム言語及演習 1	2	制御工学	2					
		○プログラム言語及演習 2	2	アルゴリズムとデータ構造	2					
	情報システム (実習を含む。)							○コンピュータシステムとインターネット	2	
	情報通信ネットワーク (実習を含む。)						情報通信伝送	2	○情報通信ネットワーク 通信機器 通信法規	
マルチメディア表現・マルチメディア技術 (実習を含む。)						○信号処理	2			
情報と職業						センシング工学 機械学習	2 2			
								○情報通信産業論	2	

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数	
工 業	工業の 関係科目	○電気電子情報通信工学概論	1	○回路基礎及演習 2	3	○電気電子情報通信実験	6	○電気法規及施設管理	2	32 ※②  47 ※③	
		○回路基礎及演習 1	3	○電磁気学及演習 1	3	○発変電工学	2	○ロボット工学	2		
				○電磁気学及演習 2	3	○電気化学と電池	2	○工学デザイン概論	2		
				○電気機器基礎	2	○電気・電子材料	2	新エネルギー技術	2		
				○電子回路 1	2	○電気機器設計	2	科学技術英語	2		
				○材料力学概論	2	送配電工学	2	電力応用	2		
				○コンピュータ工学基礎	2	電気機器応用	2				
				電磁気計測	2	パワーエレクトロニクス	2				
				電子物性	2	電子回路 2	2				
				半導体工学	2	電子回路設計	2				
				電子計測	2	量子論	2				
				電気回路	2	システム制御	2				
						電磁波工学	2				
						光エレクトロニクス	2				
			職業指導					◎職業指導 I	2		
							◎職業指導 II	2			

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学免許のみ必修の教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位、中学1種24単位を修得したこと**になる。

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位を修得したこと**になる。

③「工業」のみの免許を取得する場合は、**教育実習に参加しなくても免許取得が可能**。詳細はP13を確認してください。

# 応用化学科

(下線は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
理科	物理学	○物理1 ○物理2	2 2							中学校 24 高校 28 ※②
	化学	○基礎物理化学 ○物理化学1 ○基礎無機化学 ○無機化学1 ○基礎有機化学 ○有機化学1	2 2 2 2 2 2	○物理化学2 ○分析化学 有機化学2 物理化学3 無機化学2	2 2 2 2 2	構造化学 量子化学 高分子化学 応用分析化学 応用有機化学2 生化学	2 2 2 2 2 2			
	生物学			○生物学1 ○生物学2	2 2					
	地学			○地学1 ○地学2	2 2					
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理実験	2							
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)			○化学実験	2	○応用化学実験1 ○応用化学実験2 ○応用化学実験4	2 2 2			
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎生物学実験Ⅰ ◎生物学実験Ⅱ	1 1					
	地学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎地学実験Ⅰ ◎地学実験Ⅱ	1 1					

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学免許のみ必修の教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例) 免許教科「理科」を希望し、「理科」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位、中学1種24単位を修得したことになる。**



# ビジネスデータサイエンス学科

(下線は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
数 学	代 数 学	<u>線形代数第1</u>	2	情報数学	2					中学校 24  高校 28 ※②
		<u>線形代数第2</u>	2	◎代数学Ⅰ	2					
	幾 何 学					情報幾何学	2			
						◎幾何学Ⅰ	2			
	解 析 学	○数学A	4	<u>応用解析第1</u>	2	数値解析	2			
「確率論、統計学」		数学B	4	<u>応用解析第2</u>	2					
	○確率論	2	<u>データ解析第1</u>	2	数理統計学	2				
		○統計学	2	データ解析第2			2			
		<u>確率論演習</u>	1	応用確率論			2			
<u>統計学演習</u>		1								
コンピュータ	○情報処理演習	1	○シミュレーション	2	<u>機械学習基礎論</u>	2				
					<u>ソフトコンピューティング</u>	2				

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
情 報	情報社会・情報倫理	○情報社会と倫理	2							32 ※②
	コンピュータ・情報処理（実習を含む。）	○情報処理	2	○情報システムの構造と理論	2					
		<u>プログラム言語及演習第1</u>	2	プログラム言語及演習第2	2					
	情報システム（実習を含む。）					○データベース工学	2	ソフトウェア工学	2	
						深層学習	2			
						知能システム工学	2			
情報通信ネットワーク（実習を含む。）				○OR第1	2	最適化手法	2			
				○OR第2	2					
				○情報通信ネットワーク	2					
				情報通信理論	2					
マルチメディア表現・マルチメディア技術（実習を含む。）				<u>テクニカル・プレゼンテーション</u>	1	○ヒューマンメディア工学	2			
						画像処理システム論	2			
						感性工学	2			
情報と職業						○情報通信産業論	2			

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学免許のみ必修の教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、高校1種28単位、中学1種24単位を修得したことになる。

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、高校1種32単位を修得したことになる。

# 情報工学科

(下線は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
数 学	代 数 学	○線形代数 1	2	○応用数学	2					中学校 24 高校 28 ※②
		線形代数 2	2							
		空間数学	2							
	幾 何 学				計算幾何学	2				
					◎幾何学 I	2				
解 析 学	○数学A	4	数理基礎 2	2						
	○数学B	4								
	「確率論、統計学」			○数理基礎 1	2					
コ ン ピ ユ ー タ	○情報総合概論		2	数理情報学 1	2					
		情報基礎数学	2							

教科	免許法上の科目区分	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	最低修得単位数
情 報	情報社会・情報倫理			○情報社会と倫理	2	ソフトウェア技術	2			32 ※②
	コ ン ピ ユ ー タ ・ 情 報 処 理 ( <u>実習を含む。</u> )	○Cプログラミング初級	2	プログラミング上級演習	2	実践プログラミング	2			
		○コンピュータの構造	2							
		Cプログラミング初級演習	2							
		Cプログラミング中級演習	2							
	情報システム ( <u>実習を含む。</u> )			○データベース技術	2	○オペレーティングシステム技術	2			
	情 報 通 信 ネ ット ワ ーク ( <u>実習を含む。</u> )					○ネットワーク技術	2	システムプログラム	2	
					開発系プログラミング演習	2				
マ ル チ メ デ ィ ア 表 現 ・ マ ル チ メ デ ィ ア 技 術 ( <u>実習を含む。</u> )	○映像情報学		2	画像・映像コンテンツ演習 1	2	画像・映像コンテンツ演習 2	2	画像・映像コンテンツ演習 4	2	
						画像・映像コンテンツ演習 3	2	コンピュータグラフィックス	2	
情報と職業						○情報ビジネス	2			

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学免許のみ必修の教職科目『道徳教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例1) 免許教科「数学」を希望し、「数学」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種28単位、中学1種24単位を修得したことになる。**

(例2) 免許教科「情報」を希望し、「情報」の教科科目を28単位取得済の場合・・・

『道徳教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、**高校1種32単位を修得したことになる。**

# 生命科学科

(下線は学科必修科目を示す)

教科	免許法上の 科目区分	1年次	単 位	2年次	単 位	3年次	単 位	4年次	単 位	最低修得 単位数
理 科	物 理 学	○物理1 ○物理2	2 2					生物物理学	2	中学校 24 高校 28 ※②
	化 学	○化学1 ○化学2	2 2					生物有機化学 生物無機化学	2 2	
	生 物 学	○基礎分子生物学 ○進化多様性生物学 ○基礎生物学 <u>基礎生化学</u>	2 2 2 2	○自然史野外実習 代謝生物学 分子遺伝学 <u>地球環境・生態学</u> 生体エネルギー論 生命科学技術基礎 進化学	1 2 2 2 2 2 2	○応用生物学 <u>植物分子生理学</u> <u>動物分子生理学</u> <u>分子発生学</u> 環境応用微生物学 免疫学	2 2 2 2 2 2			
	地 学	○地学1 ○地学2	2 2							
	物理学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○物理実験	2							
	化学実験 (コンピュータ活用を含む。)	○化学実験	2							
	生物学実験 (コンピュータ活用を含む。)			○遺伝情報学実験 <u>環境生物学実験</u>	3 3	<u>生理・生化学実験</u>	3			
地学実験 (コンピュータ活用を含む。)			◎地学実験Ⅰ ◎地学実験Ⅱ	1 1						

①○と◎のついた科目は免許取得のためには必修となる。

②中学免許のみ必修の教職科目『道德教育の理論と方法』『教育実習Ⅱ』を修得した場合、高校の単位数に算入される。

(例) 免許教科「理科」を希望し、「理科」の教科科目を24単位取得済の場合・・・

『道德教育の理論と方法』2単位・『教育実習Ⅱ』2単位を修得していれば、高校1種28単位、中学1種24単位を修得したことになる。